

俵 万智選



黒瀬 珂瀾選

生きていくことができるかわからない死なないことはできるだろうが 東京都 富尾 なつ

【評】「生きていくこと」は「死なないこと」とイコールではないと一首は言っている。その違いを考えるのが、まさに生きていくことなのだろう。いっぽう、死なないことさえ難しい時代や地域もあることは忘れずにいたい。戦争のニュースかと問う新聞にイランの文字だけ読める幼子 大和郡山市 本田 岳

【評】まだカタカナしか読めないのだろう。そんな幼い子どもからの質問。心痛む一コマだが、きちんと説明できる大人でありたい。ダンベルを握るみたいに掌を丸め母は電話のジエスチャーをする 大野城市 野分 のわ

【評】スマホではなく、固定電話の受話器である。しっかりと握る感じをとらえた上の句の比喩が、リアルで楽しい。手のひらのラムネのようなイブを飲み放課後のない大人に帰る 前橋市 雨水 ひと

八月は死者かへる月大陸より北の海より南の海より 市原市 井原 茂明

お土産の小さい餅がしょっている力ニの左手みたいなフォーク 東京都 鳥さんの臉 置き去りのトリートメント浴室は散らない花のあなたの匂い 埼玉県 玖嶋さくら

来年も観に来たいねという言葉束の間空を明るくしつつ 大和郡山市 大津 穂波

シャンプーを詰め替えるとき飛ぶ泡のように明るくはみ出す未来 宇部市 常田 瑛子
先生に良い質問と褒められてその回答がおもしろくない 横浜市 富尾 大地

「生きる」から「生き抜く」ことへ自らの老の舵切る猛暑日の中 那須塩原市 野崎 征子

【評】「酷暑日」まで生まれた現代の夏。まさに夏は「生き抜く」季節となりました。空調などを活用して健康を保つ知恵を身につける。「老の舵切る」に生きる意欲を感じます。よく冷えたレモン由来のクエン酸きゅーっと入れて午後に備える 高岡市 池田 典恵

【評】これも夏を乗り切る一首。気付けの一杯をあおるように、熱中症予防のクエン酸を一気飲み。「入れて」という表現がとても巧みです。この酸っぱさが効くんですかね。帰りたい子に会いたい一心で介助拒否する夏日の老女 須崎市 野中 泰佑

【評】介護福祉施設での現実です。老女の気持ちかわかるゆえに、介護者も苦悩するのでしょう。皆のつらい気持ちが伝わります。小麦色に焼けし夫の二の腕をみれば病の完治の予感す 新潟市 横間 征子

我が母の再検査のこと告げれば我より悲しむ我が主治医は 千葉市 佐藤 綾子

賜りし図書カードをためて故郷の母の誕生日に獄より送る 松本市 武井 緋彩

窓いっぱい金の金木犀はこの職場一の福利厚生だろうな 福岡市 水川 海

人を刺すナイフも君は釣り銭を出さないように買うんだろうか 北海道 登 ゆう
細すぎるタトゥー塗れのおんなの子の自撮りがあがる生きていてくれ 松戸市 二瓶千恵子
蛭ひとつまたひとつ消ゆ夫逝きて音なき闇夜にひとり眺むる 北九州市 田浦チサ子

◇投稿規定◇ はがき1枚に未発表の1作品。住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記。
◇他の媒体、選者への二重投稿は厳禁です。〒103・8601、にほんばし蔵前郵便局留、読売歌（俳）壇、〇〇先生（希望選者名）係または読売新聞オンラインから 右の影絵ははくろ

次回は15日（火）
掲載予定